

田辺工業高等学校

実施日時	平成30年12月7日(金)
参加者	1年生147名 計147名
実施内容	天幕張り、ロープワーク、炊き出し、応急処置、講話

事前の取組

(1) 打ち合わせ

自衛隊(和歌山地方協力本部田辺地域事務所)と事前打ち合わせ(5回)

(2) 事前説明

生徒に向けてホームルームにて事前に内容説明と班分け

(3) 炊き出し

アルファ米を用いた炊き出し方法を学んだ。



〔炊き出し1〕



〔炊き出し2〕

主なプログラム

(1) 天幕張り

1クラス 1班 20名 × 4クラス
災害時等に使用する天幕の張り方を杭打ちから完成まで体験し、大型の天幕のため協力が必要であることを学んだ。



〔天幕張り〕



〔杭打ち〕

(2) ロープワーク

災害時に資材の固定や物資の梱包などに活用できるロープの結束の方法を学んだ。



〔ロープワーク1〕



〔ロープワーク2〕

(4) 応急処置

災害時の心肺蘇生や骨折の処置の応急処置方法を学んだ。



〔応急処置1〕



〔応急処置2〕

(5) 救命救急講義

東日本大震災の災害現場の状況説明、救命救急や復旧活動の経験談、災害時の対処方法の紹介から救命救急の大切さを学んだ。



〔救命救急講義〕

参加者感想文

- 自衛隊の方から大震災の話を聞いて災害の時は何もできなくなるので、訓練などを通して準備が必要だと感じました。
- テント張りや炊き出しなど少しでも協力できるようにになりたいと思った。
- ロープワークは覚えておけば災害のときには役に立つと思ったので忘れないようにしたいと思います。

成果と課題

今回の防災スクールは和歌山地方協力本部田辺地域事務所と信太山駐屯地第37普通科連隊のご協力を得て開催することができました。防災スクールを通じて参加した生徒の各ショップで真剣に取り組む姿を見ることができました。その様子から地域柄 地震や津波に対する意識が高いと思われる、今回の防災スクールは有意義であったと思われます。課題としては簡易トイレや段ボール間仕切りなどテーマを増やしてより多くの内容を学ぶことができればより充実した内容の防災スクールになり、実際の現場において活躍できる人材に育つことを期待できます。